

運輸系統の社員運用について 業務委員会を開催！

「均衡のとれた要員配置を図るための社員運用」の説明を受ける！

本部は1月12日「運輸系統の社員運用について」の業務委員会を開催しました。会社は、平成17年度から進めてきた社員運用の一部を変更することを提示してきました。その実施内容は（１）プロフェッショナル（高専卒・短大卒・専門学校卒・高校卒）社員の養成期間における駅在勤期間の延伸（２）プロフェッショナル職（大学・大学院卒）社員の養成期間における運用の変更で、その他として、社員運用の一環としての乗務員区所から駅へ異動し、現在も駅に勤務している社員の一部について、平成22年度より乗務員区所への異動を行うというものでした。

具体的には、プロフェッショナルの高専卒・短大卒・専門学校卒・高校卒社員は、平成22年度から駅勤務期間を延伸し本務期間を3年程度とし、プロフェッショナル職（大学・大学院卒）社員は車掌、駅、運転士の順とするものです。会社は変更の理由として駅業務が EXIC やトイカなどの IC カードの導入により、運賃計算の仕方や窓口処理が複雑になったため習得すべき知識や機器扱いが増え、そのため駅戦力の強化が必要としています。また、インターネットのお客様窓口の整備やサービス相談室を設けたため会社への提案や要望などが増え、フロントサービスに関する御意見もあり、駅の戦力強化をしていくとし、さらに身近な社員の指導ができることなどから駅での本務期間を3年程度とすると説明しました。

本部は、会社からの説明を受け後以下の下記の通り議論を行いました。

駅本務の3年間は休日出勤の解消に逆行する！

組合：駅の本務を3年とすることで運転士の養成人数が減ることはないのか。

会社：要員が悪化することはない。

組合：車掌の養成が22年度から1年延る、その影響が運転士養成の減とならないか。

会社：全体を見て運用するので要員が悪化することはない。

組合：悪化しないということは、休日出勤が改善しないということだ。

会社：今後も会社は休日出勤解消に向けて努力をしていく。

組合：しかし、現実には改善しないということだ。

会社：ダイヤ改正や養成計画を固めた後に悪化はしないということである。

組合：プロ大（大学・大学院卒）は入社後、車掌となるが特別に教育は考えているのか。

会社：新入社員研修を終えて車掌研修に入る。これまでの教育を踏まえて養成をしていく。

組合：車掌業務は一旦事故が発生すると、直ちに人命に関わる業務である。特別の教育をしてきているのか。

会社：従来の車掌教育で一生懸命やってきて実績があるので大丈夫である。

組合：運転士からの駅異動は今年度も実施するのか。

会社：駅、車掌、運転士というサイクルが基本であり、従来通りやっていく。

組合：駅には3年目の社員が残ることとなるが、駅の社員は増えることになるのか。

会社：駅の社員を増やすことが目的ではないが、増えるケースはある。調整をしていく。

乗務区所への異動は経過年数と希望を優先せよ！

組合：22年度の3年目となる駅員の数を示せ。

会社：資料がないので分からないが、採用数を見れば300名以上である。

組合：今回22年度の異動の対象者は何人か。

会社：各職場の要員需給を見ながら決めていく。一概に何人とは言えない。

組合：平成20年度採用で車掌に行く者は何人か。

会社：個々では分からない。

組合：乗務員区所に戻る順序は異動経過年数を優先するのか。

会社：個別の問題となるが、順番は経過年数を配慮していく。人事異動は、会社が俗人の適正を考慮して配属していく。

組合：異動については経過年数と希望を優先すること。

駅業務のプロフェッショナルを養成せよ！

組合：駅業務は、会社が説明した通りICカードの導入・新しい機器の導入によりより業務が複雑になっている。会社は、駅在勤期間を3年程度と提示したが、駅には駅のプロフェッショナルが必要である。駅に配属されて、車掌や運転士を希望しない社員もいる。駅業務が好きで、駅のプロフェッショナルを目指す社員も必要である。駅の営業助役のようなスーパープロを養成すること。

会社：制度の話となるが、意見として聞いておく。

組合：在勤期間を3年とした理由は、業務の複雑化などを理由に採用後の定着率の低

下があるのではないか。

会社：定着率が下がっているとか、著しく辞める社員が増えていることはない。世間一般で言われているような、3年3割という認識はない。

組合：プロ大も高卒も乗務員区所において新入社員の育成・教育を行わないのか。

会社：どこで線を引くのかということで、一定の社会経験のある大卒・大学院卒が適していることからスムーズに運用ができると判断した。

組合：プロ大も高卒も乗務員区で養成をすべきである。

会社：プロ大と高卒は分けたほうが望ましい。

以 上